

2019年度

特定非営利活動法人さくらザウルス 事業報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

全体総括

各施設、それぞれの持ち味を生かした様々な事業を行った。心を込めて準備を進めつつ、必要としている親子に少しでも多く参加してもらえるよう、ひろば・居場所での声かけはもちろん、広報紙の記事を工夫したり、赤ちゃん学級や両親教室にPRに行く等、つながるためのきっかけ作りにも力を注いだ。

新型コロナウイルス対策では4施設が連絡を取り合いながら対応を協議した。特に広報紙の発行では先が見通せない中での判断の難しさを経験し、今後の教訓として活かしていきたいと思う。

法人本部事業

事業名	「さくらザウルスホームページ」運営事業
内容	ホームページ内法人ページの管理。

事業名	子育て応援ネットワーク事業
内容	全国子育てタクシー協会の推進事業に取り組む地元業者「アサヒタクシー」との連携。 〔提携内容〕 <ul style="list-style-type: none">・子育てタクシー認定ドライバー養成講座講師および実施研修受け入れ・事業対象者のニーズ把握とPR協力・利用者からの苦情取り次ぎ窓口・子育てタクシー認定ドライバーのブラッシュアップ研修実施協力

外部ネットワークの活動や委員会への参加

南区社会福祉協議会関連	南区社会福祉協議会評議員（市民活動・ボランティア部会代表）、南区ボランティアセンター運営委員を受任。
0123ヨコハマおはなしネット	横浜市内で乳幼児を対象とした読み聞かせ（おはなし会）活動を行っている個人や団体によるネットワーク。南図書館を拠点に、情報交換や学びあいの場を持っている。おはなしスタッフが、隔月開催のミーティングや研修会に参加した。
よこはま地域子育て支援拠点ネットワーク	横浜市18区地域子育て支援拠点による自主的なネットワーク。拠点事業に関する課題解決を図るために、情報交換・事例検討・学習会やシンポジウムの企画実施を行った。
インターンシップ受け入れ	NPO法人アクションポート横浜がコーディネートする、大学生と各分野のNPOとのインターンシップのマッチングに参加。希望する学生を夏休み期間受け入れする。

事業名	別所ひろば開設準備事業
内容	別所 1 丁目土地新規施設運営受託にあたり開設に向けての準備。 *業者（大和地所レジデンス）との打ち合わせを行った。 *プロジェクトチームを立ち上げ、情報共有や意見交換を行った。 *2月末、施設引き渡し。4月1日開所に向けて3月は新スタッフで準備作業を行った。

2019(令和元)年度 親と子のつどいの広場事業

さくらザウルス蒔田ひろば 事業報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

事業の成果

今年度は昨年比2486人減の5381人の利用となった。初回利用者は176組と83組減、年齢別で見ると、0歳児、1歳児が大幅に減少、3歳児は昨年に比べると60%ほど増加している。職場復帰される方が大幅に増えたことが要因と思われる。前々年の利用数に戻り、程よい利用数だった。

実家に戻っている間利用される方や、おばあちゃんがお孫さんと利用されたり、パパの利用なども見られるようになり、身近に感じてもらえ、ほかの施設と併用してさくらザウルスを生活の一部として選んで利用してもらえているように感じる。

ひろば来所のきっかけは、「赤ちゃん訪問での訪問員による紹介」や「赤ちゃん学級でのスタッフによるPRで知った」という方が多く、年間を通じて赤ちゃん学級に出向いた効果が表れている。また、「はぐはぐの樹で紹介されてこちらの方が家に近いことを知った」という方も多かった。

0歳児の利用を優先するプログラム「赤ちゃんタイム」は、午前開催、午後開催どちらも利用は多く、ほとんどの方が、毎回参加されていた。初めての子育てを共有したり、情報交換、下のお子さんのお友達作りの場になっている。

夏休みの期間の近隣小学生の子どもスタッフ体験や中学生の職業体験などの受け入れも行った。近隣小学校の2年生が町探検の時間に、ひろばを見学に訪れた。

今年度は蒔田ひろば15周年を祝う連続企画を立て、「スペシャルおはなし会」リバイバルプログラム「わんぱくDAY」ひろば開所当時からある人気の手作りおもちゃ作り「キラキラフープを作って遊ぼう」や「ゆる〜い縁日(土曜開催)」を開催。それぞれスタッフの得意を生かして担当してもらいスタッフも楽しめ、パパにもひろばを知ってもらえる機会となり、みんなの力で祝うことができた。

利用者の希望により、前年度実施の利用者持ち込み企画「おうちパン講座」や、スタッフ発信の「季節のうたを歌おう」、元スタッフによる「ペットボトルウォーター講座」を今年度も実施した。それぞれの得意を生かした講座で、人気も高い。

「第2期子ども・子育て支援事業計画」のパブリックコメントとして「声を届けるワークショップ」を開催、5名の参加があった。参加者の中から1名が、現在サブスタッフとして活躍している。得意なギターと歌声で利用者を楽しませてくれている。

毎年恒例の「つぼみザウルス」は、プレママ・パパ、先輩ママ共に4組ずつの参加で、和やかな雰囲気の中開催された。準備の段階では、参加者がいるか心配なプログラムだが、毎回担当が両親学級などで懸命にPRし、努力が実り達成感のある良いプログラムになっている。実際のお湯を使う沐浴体験は毎回好評。

12月は「クリスマスお楽しみ会」や、「おもちゃ病院」のドクターがサンタに扮し、おもちゃを直し、一緒に写真を撮る「サンタさんと写真撮影会」など、スタッフ・利用者ともに楽しめるあたたかいプログラムとなった。

2月中旬から3月上旬のひな祭り写真館は、新型コロナ感染拡大防止対策のため、プログラム中止、居場所機能休止となり短い期間で終了した。

前年度、警察の道場に出向き実施した「護身術講座」は、今年度は、「不審者対応」のスタッフ研修として、警察官をひろばに迎え、不審者対応の実地訓練と、護身術を学んだ。

ほかにスタッフ研修として、「傷病者緊急対応マニュアル」の読み合わせと救急箱の中身の確認、対応のシュミレーション、「地震発生時の初動マニュアル」の読み合わせ、備品の確認、ロールプレイで動きの確認をした。「インフルエンザの予防と治療・最新情報」について、講演会参加のスタッフからの報告会や、にこにこサロン講師に依頼し、今と昔の子育ての違いや、ひろばでのお子さんへの対応、泣いたとき、抱っこ効果や、抱っこの仕方などを学んだ。

また、横浜地域子育て支援拠点ネットワーク主催の「これからの地域の子育て支援をRe☆デザインする」「これからのひろばの可能性と未来についてみんなで学びタイム」やはぐはぐの樹主催「児童虐待の

理解と対応について」横浜地域子育て支援拠点ネットワーク×ヨコハマー万人子育てフォーラム×ワイワイ会議実行委員会による『仕組み』を知ろう！第2期こども・子育て支援事業計画で私たちの事業はどう変わる？」、横浜市地域子育て支援フォーラム「つながるヨコハマ～これからの親子の居場所について考える～」や、「横浜市地域子育て支援実践者研修」「Aブロック会議・研修」など、多くの研修・講座に参加し、持ち帰った情報を参加者が丁寧に伝え、スタッフ間で共有することで、スキルアップにつながった。

ひろばに併設されているチャリティーショップの存在は、子育て中の親子だけでなく、近隣の方々にも浸透し、広く親しまれている。入園・入学でひろば利用を離れた方も、寄付や買い物で立ち寄り、お子さんの近況を聞かせてくれる。例年だと、3月は保育所の入所に備えてまとめ買いをされる方が多いが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため3月2日以降は、居場所機能休止となり、チャリティーショップも同様の対応となった。

休止中も様子を気にして何度も足を運んで下さる地域の方や、寄付の品を持ってきてくださる方など、たくさんの方がひろばを見守って下さっていることを改めて実感することができた。

ひろばの一時預かり事業は、ひろば利用減少に伴い、本年度の総登録者数は、72件と、昨年度103件に対し31件下回った。延べ利用者数は、240人(延べ預かり児童数245人)、昨年度延べ利用者数331人(延べ預かり児童数347人)に比べ、利用者数91人減(預かり児童数102人減)となった。昨年度は、予約が取れずお断りすることが多かったが、本年度は、利用数は丁度良い数だが、担当スタッフが減り対応できる人数に限られ、お断りすることや、日時の調整に協力いただいたりすることもあった。出来るかぎり対応できるよう調整をしながら対応した。

① 親子の交流・集いの場の提供事業

事業名	親と子のつどいの広場「蒔田ひろば」事業							
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日から金曜日の10時から16時（ただし、祝日・特別休館日を除く）開館。 ・施設は、横浜市南区榎町1-1-5フレア吉原1階を借り上げて整備。チャリティーショップを併設。 ・乳幼児とその親（養育者）が集い交流し、自由に過ごせる場の提供。 ・2人以上のスタッフが常駐し、日常的な子育て相談や遊びの見守りを行った。 ≪利用実績≫							
	月	4	5	6	7	8	9	
	開所日数	19	18	18	20	16	18	
	利用人数	495	413	480	455	411	564	
	平均人数	26.1	22.9	26.7	22.8	25.7	31.3	
	利用組数	235	200	230	211	189	272	
	平均組数	12.4	11.1	12.8	10.6	11.8	15.1	
	月	10	11	12	1	2	3	合計
	開所日数	19	18	18	17	16	19	216
	利用人数	564	486	512	464	437	0	5,281
	平均人数	29.7	27.0	28.4	27.3	27.3	0	24.5
	利用組数	267	233	233	217	205	0	2,492
	平均組数	14.1	12.9	12.9	12.8	12.8	0	11.5
		・ひろば内でプログラムを実施 ≪プログラム実績≫						
プログラム名		回数	参加数	プログラム名		回数	参加数	
ベビーピクス		学習	10	56組	15周年記念 わんぱくDAY	体験	1	10組
にこにこサロン+ ピラティス		相談	11	45組	15周年記念 キラキラフープを 作って遊ぼう	学習 交流	1	9組
おはなし会		体験	8	48組	季節のうたを歌おう	交流	3	17組
おもちゃ病院		援助	10	40件	つぼみザウルス	交流	1	8組
お誕生会		交流	10	68組	クリスマスお楽しみ会	季節	1	18組
キッズタイム		体験	10	55組	おうちパン講座	学習	1	7組
教育資金セミナー		学習	1	5組	ペットボトルウォーター講座	学習	1	10組
赤ちゃんタイム		交流	23	225組	声を届ける ワークショップ	学習	1	5組
保育士相談日		相談	1	10組	サンタさんと 写真撮影	季節	1	10組
保育・教育のつどい 相談日		相談	4	9組	豆まき	季節	1	13組
子育てパートナー相談日		相談	3	7組	ハロウィン写真館	季節	1	
幼稚園選り座談会		交流	1	13組	ひな祭り写真館	季節	1	
15周年記念 スペシャルおはなし会		体験	1	10組				

② 子育てに関する相談・援助事業

「保育士相談日」「にこにこサロン+ピラティス」「保育・教育コンシェルジュ相談日」「子育てパートナー相談日」「歯科相談日」を親と子のつどいの広場事業(①)の中のプログラムとして実施。

③ 子育て関連情報の提供事業

子育て関連情報のチラシ・パンフレット・記事切り抜きファイルや書籍・ブックレットを親と子のつどいのひろば事業(①)のひろば内の情報コーナーに設置。

④ 子育てに関する学習機会の提供事業

事業名	親力アップ事業		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに役立つ講座の開催 ・親自身が持っている力の発揮(エンパワメント)できるような参加型の学習の機会の提供。 		
	開催日	タイトル	参加数
	4月22日	季節のうたを歌おう 春	7組
	5月13日	保育士相談①「始めようおむつはずし」	10組
	5月30日	幼稚園選び座談会「あなたのポイントを見つけよう」	13組
	6月21日	15周年記念スペシャルおはなし会 「子育ての中でお話を楽しもう」	10組
	7月19日	季節のうたを歌おう 夏	2組
	7月22日	15周年記念 人気プログラムを再現 「スペシャルわんぱくDAY」	10組
	8月27日	トロピカルペットボトルウォーター作り	10組
	8月29日	教育資金ミニセミナー	5組
	9月20日	15周年記念 「キラキラフープを作って遊ぼう」	9組
	9月28日	つぼみザウルス「もうすぐママ・パパになる皆さんへ」 プレパパ・ママと先輩パパ・ママの交流会へどうぞ	8組
	11月7日	季節のうたを歌おう 秋	8組
	11月14日	パブコメワーク「声を届けるワークショップ」	5組
	11月15日	オープン不要!簡単パン作り「おうちパン講座」	7組
	12月23日	クリスマスお楽しみ会	18組
	2月25日	保育相談②	中止
2月26日	教育資金ミニセミナー	中止	

	3月2日	季節のうたお歌おう 最終章	中止
	3月9日	防災講座	中止

⑤ 子育て支援に関する人材養成やネットワーク作り事業

事業名	子育て応援ネットワーク事業		
内 容	区内施設で出張おはなし会の実施。子育て支援グループや子育てサークルへの支援 ・中村地区センター出張おはなし会・・・8回 のべ52組参加 ※年9回実施予定、うち1回は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止 ・その他単発の出張おはなし会 白朋苑「スモールワールド」出張おはなし会・・・1回 9組参加 ※10月3月の2回予定、うち3月予定分は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止		
	地域の催しや区民利用施設イベントなどに参加し、広報活動や他団体と交流。 ・7月開催「南まつり」に「子育て応援ハウス」として参加。		
	学生ボランティアの受入れ 学生ボランティアの受入れ		
	学校名	人数	活動数
	日枝小学校放課後 キッズクラブ	5	2日
	蒔田中学校	3	3人×1日
	合計	8	3日
活動内容 ひろば見守り ひろば清掃・見守り			

外部ネットワークの活動や委員会への参加

「親と子のつどいの広場」 全体連絡会 (横浜市こども青年局主催)	横浜市内で開設されている 66カ所の「親と子のつどいの広場」 運営者による連絡会。横浜市との連絡調整、意見交換や研修等。
「親と子のつどいの広場」 ブロック会	「親と子のつどいの広場」連絡会の方面別会合。(Aブロック:鶴見・ 神奈川・西・中・南)。主に相互見学と情報交換。
「南区子育てもっとネット」 (福祉保健センター・南区地 域子育て支援拠点主催)	南区内の子育て支援関係施設・団体のネットワーク。「南区子育てカ レンダー」「まちのほっとスペーススタンプラリー」などに参加。

⑥ 通信発行事業

事業名	「さくらザウルス通信」発行事業
内容	子育て関連の催しや子育てに役立つ情報を掲載した通信を発行し、南区内の公共施設・駅、「赤ちゃん学級」会場、市内子育て支援施設などで配布。 (A4版6ページ・2,900部)

⑦ ホームページ事業

事業名	「さくらザウルスホームページ」運営事業
内容	ホームページを定期的に内容更新し、子育て関連の催しや子育てに役立つ情報を発信。 携帯サイトでも、同様に発信。

⑧「一時預かり事業」

事業名	一時預かり事業						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろばの中で預かり専任のスタッフが利用者のお子さんを預かり、主に養育者のリフレッシュや通院などの際に利用できる一時預かりを提供。 ・一人一日4時間、一度に3人まで受け入れる。 ・専任スタッフは常駐配置し、いつでも利用説明、登録ができる体制をとっている。 ・ひろば内や区内施設にリーフレットを設置。 ・両親学級でのリーフレット配布や赤ちゃん学級に出向きPRした。 ・年間を通じてPRを実施したことにより登録につながっている。登録されすぐ利用される方が増えてきている。 ・説明時、登録時、予約時、キャンセル時のマニュアルとスタッフ当日マニュアルを見直し、内容の確認をした。見直しをすることにより、基本を忘れないように再確認することができた。 ・はぐはぐの樹からの紹介で、登録、利用につながったケースもあった。 ・お断りすることの無いよう、できる限りスタッフ間の調整を行い対応した。 						
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	登録総数	91人	86人	84人	86人	80人	79人
	新規登録数	5人	2人	6人	8人	2人	9人
	利用数	26人	22人	26人	25人	9人	18人
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録総数	76人	73人	74人	74人	80人	72人	72人※
新規登録数	6人	4人	9人	7人	13人	1人	72人
利用数	22人	22人	20人	16人	27人	7人	240人
※3月末登録者数							

2019(令和元)年度 親と子のつどいの広場事業 さくらザウルス六ツ川ひろば 事業報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

事業の成果

利用者は昨年に比べるとかなり少なくなっていたが、上の子が学校や幼稚園・保育園に行っている時間帯に下の子と一緒に利用している姿が見られた。そんな中、利用者とともにつくる居場所という考えに基づき、季節の行事は大切に、利用者参加型のプログラムを企画した。プログラムをきっかけに初来所の方もいて、その後のひろば利用につながった。

鎌倉で音楽遊びを主宰しているスタッフが企画・実施した「体をうごかして音楽遊び」は対象年齢を1歳半以上にして、少し動きがある内容になった。ママ向けの「ハーバリウム体験」は、スタッフの特技を生かし、5月実施でちょうど母の日のプレゼントや自分へのごほうびとしての内容になった。

「救急救命士に聞いてみよう」「風水害から身を守る」では、熱中症や台風など身近なテーマだったので、関心度の高い講座になった。3回目となる「食育講座」は担当者が利用者の声を反映し「離乳食から幼児食へ」を実施、同じく3回目となる「しめなわ作り」は、利用者にも周知され人気講座の1つになっている。

夏休みには大学生のインターン生を1名・秋冬には中学生の職業体験を迎え入れた。ふだん接することのない年齢の学生たちに利用者親子が積極的に話しかけている姿が見られた。

スタッフが2名別所ひろばへ異動になった。担当していた仕事の引き継ぎなどを行いながら、仕事内容の見直しなどもすることができた。それに伴い、新しいスタッフの研修を控えていたが「新型コロナウイルス」の影響で保留になっている。通信作業に関しては、一人に負担がかからないようひろばスタッフの力を借りて作業を進めていきたい。

ひろばでの一時預かりは5年半が経過した。だいぶ預かりは周知されてきていると感じるが、赤ちゃん学級・おでかけひろばへのPRは定期的に行った。登録可能月齢(6ヶ月)になってすぐ登録・利用につながるケースが多く見られた。預かりをひろばで見ることによって利用につながっている。予約が重なることもあったが預かりスタッフ・ひろばスタッフ間で協力してできる限り対応することができた。

③ 親子の交流・集いの場の提供事業

事業名	親と子のつどいの広場「六ツ川ひろば」事業							
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日から金曜日の10時から16時(但し、祝日・特別休館日を除く)開館。 ・施設は、横浜市南区六ツ川1-287-7 ザ・プランスヒル南横浜一番館101を借り上げて整備。 ・乳幼児とその親(養育者)が集い交流し、自由に過ごせる場の提供。 ・2人以上のスタッフが常駐し、日常的な子育て相談や遊びの見守りを行った。 							
	月	4	5	6	7	8	9	
	開所日数	18	19	19	20	16	17	
	利用人数	287	339	279	364	302	313	
	平均人数	15.9	17.8	14.7	18.2	18.9	18.4	
	利用組数	128	159	129	160	133	150	
	平均組数	7.1	8.4	6.8	8.0	8.3	8.8	
	月	10	11	12	1	2	3	合計
	開所日数	19	18	18	17	16	19	216
	利用人数	424	446	264	250	347	0	3,615
	平均人数	22.3	24.8	14.7	14.7	21.7	0	18.4
	利用組数	200	220	121	117	166	0	1,683

平均組数	10.5	12.2	6.7	6.9	10.4	0	8.5
・ひろば内でプログラムを実施 《プログラム実績》							
プログラム名		回数	参加数	プログラム名		回数	参加数
ベビーピクス	学習	11	39組	牛乳パック工作 はたらく車	学習	1	6組
にこにこサロン+ ピラティス	相談	11	35組	救命救急士さんに 聞いてみよう	学習	1	13組
おはなし会	体験	6	34組	幼稚園選り座談会	学習	1	6組
おはなし会+音楽遊び	体験	3	42組	ペットボトルウォーター	交流	1	8組
おもちゃ病院	援助	11	19件	風水害から身を守る	学習	1	12組
お誕生会	交流	10	31組	ハロウィンクラフト	交流	1	9組
キッズタイム	体験	10	40組	食育講座	学習	1	10組
教育資金セミナー	学習	2	5組	私たちの声を届ける ワークショップ	交流	1	4組
赤ちゃんタイム	交流	21	112組	しめなわ飾りを作ろう	交流	1	9組
保育士相談日	相談	2	26組	こいのぼり	季節	1	
保育・教育コンシェルジュ 相談日	相談	3	17組	七夕	季節	1	
子育てパートナー相談日	相談	2	3組	クリスマスイベント	季節	1	14組
体を動かして 音楽遊び	交流	1	4組	豆まき	季節	1	7組
ハーバリウム体験	体験	1	12組	ひなまつり写真館	季節	1	
				感謝デー	交流	1	

② 子育てに関する相談・援助事業

「保育士相談日」「にこにこサロン+ピラティス」「保育・教育コンシェルジュ相談日」「子育てパートナー相談日」「歯科相談日」を親と子のつどいの広場事業(①)の中のプログラムとして実施。

③ 子育て関連情報の提供事業

子育て関連情報のチラシ・パンフレット・記事切り抜きファイルや書籍・ブックレットを親と子のつどいのひろば事業(①)のひろば内の情報コーナーに設置。

④ 子育てに関する学習機会の提供事業

事業名	親力アップ事業
-----	---------

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに役立つ講座の開催 ・親自身が持っている力の発揮(エンパワーメント)できるような参加型の学習の機会の提供。 		
	日にち	タイトル	参加数
	4月12日	体をうごかして「音楽であそぼう」	4組
	5月10日	ハーバリウム体験	12組
	6月18日	牛乳パック工作 ～はたらく車～	6組
	7月10日	救急救命士さんに聞いてみよう!	13組
	7月18日	教育資金ミニセミナー	2組
	11月12日		3組
	8月3日	幼稚園選び座談会 「先輩ママとじっくり話そう 幼稚園選びのポイント」	6組
	8月20日	保育士相談① 「おむつはずれ あせらずに」	9組
	8月28日	トロピカルペットボトルウォーター	8組
	9月17日	防災講座 「風水害から身を守る」	12組
	10月4日	ハロウィン ママ向けクラフト 「くるみボタン作り」	9組
	10月31日	食育講座 「離乳食から幼児食へ」	10組
	11月13日	私たちの声を届けるワークショップ	4組
	12月23日	「しめなわ飾りを作ろう!」	9組
2月17日	保育士相談② 「どんなところ?保育園」	17組	

⑤ 子育て支援に関する人材養成やネットワーク作り事業

事業名	子育て応援ネットワーク事業
内 容	<p>区内施設で出張おはなし会の実施。子育て支援グループや子育てサークルへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> *永田地区センター出張おはなし会・・・9回 のべ 27組参加 *その他単発の出張おはなし会 <ul style="list-style-type: none"> ・永田地域ケアプラザ出張おはなし会 →「新型コロナウイルス」の影響で中止
	<p>地域の催しや区民利用施設イベントなどに参加し、広報活動や他団体と交流。</p> <ul style="list-style-type: none"> *むつみウキウキらんらんまつり →台風の影響により中止

学生ボランティアの受入れ 学生ボランティアの受入れ			
学校名	人数	活動数	活動内容
永田中学校	3	3人×1日	ひろば清掃・見守り
六ツ川中学校	3	3人×2日	ひろば清掃・見守り
六つ川小キッズ	5	3人×半日 3人×半日	ひろば清掃・見守り
合計	11	のべ4日	
インターンシップ、見学受け入れ			
学校名	人数	活動数	活動内容
明治学院大学	1	1人×6日	ひろばの清掃・見守り
合計	1	のべ6日	

外部ネットワークの活動や委員会への参加

「親と子のつどいの広場」 全体連絡会 (横浜市こども青年局主催)	横浜市内で開設されている 66カ所の「親と子のつどいの広場」 運営者による連絡会。横浜市との連絡調整、意見交換や研修等。
「親と子のつどいの広場」 ブロック会	「親と子のつどいの広場」連絡会の方面別会合。(Aブロック:鶴見・ 神奈川・西・中・南)。主に相互見学と情報交換。
「南区子育てもっとネット」 (福祉保健センター・南区地 域子育て支援拠点主催)	南区内の子育て支援関係施設・団体のネットワーク。「南区子育てカ レンダー」「まちのほっとスペーススタンプラリー」などに参加。

⑥ 通信発行事業

事業名	「さくらザウルス通信」発行事業
内 容	子育て関連の催しや子育てに役立つ情報を掲載した通信を発行し、南区内の公共施設・駅、 「赤ちゃん学級」会場、市内子育て支援施設などで配布。 (A4版6ページ・2,900部)

⑦ ホームページ事業

事業名	「さくらザウルスホームページ」運営事業
内 容	ホームページを定期的に内容更新し、子育て関連の催しや子育てに役立つ情報を発信。 携帯サイトでも、同様に発信。

⑧「一時預かり事業」

事業名	一時預かり事業
-----	---------

内 容

- ・ひろばの中で預かり専任スタッフが利用者のお子さんを預かり、養育者のニーズ合わせて利用できる一時預かりを提供。
- ・1人一日4時間以内、一度に3人まで受け入れる。
- ・専任スタッフは常駐配置し、いつでも利用説明、登録ができる体制をとっている。
- ・ひろば内や区内施設にリーフレットを設置。
- ・赤ちゃん学級、おでかけひろば、近隣サロンへ出向きPRをした。まずはひろばを知ってもらい、一時預かりを利用してもらえるよう紹介をした。
- ・予約が同じ日に集中したり、時間も重なることがあるがその都度スタッフ間で調整を行い、1対1を基本に、できる限りの対応をした。
- ・ひろば利用者が預かりの様子を目にすることが増え、利用につながっている。0歳の利用が目立った。
- ・隔月で行っているひろばの防災訓練に預かりのお子さんと参加し、災害時に備えた。
- ・一時預かり活動の再確認として、『来所時の健康観察』と『睡眠時の安全対策』についてスタッフ間で再度共有した。睡眠時の姿勢やプレスチェックは今後も対応は徹底していく。
- ・蒔田ひろばの預かりスタッフと6月に集まり、合同会議を行い情報交換をした。また、ひろばのサロンでお世話になっている助産師の先生に講師となって頂き、「育児に関する変化」についてお話を伺った。
- ・登録時アンケートを集計し、スタッフ間で考察をした。
- ・ママと離れると預かり中はずっと泣いていた常連のお子さんも、回数を重ねるごとに徐々に落ち着いてきて「いってらっしゃい」と手を振るようになり、ひろば利用者とも見守りながらママと一緒に成長を喜ぶことができた。
- ・一時預かりマニュアルを見直し、改訂版を新たに作成した。新年度から新しい預かりスタッフが活動できるように準備をした。
- ・以前の英字の利用規約を見直し、作成した。まだ利用はない。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止から、ひろば機能が休止になったが預かりのお子さんの受け入れは継続した。最大限の予防をして、お子さんが不安にならないよう普段と変わらない対応を心がけた。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録総数	78人	75人	75人	70人	70人	70人
新規登録数	6人	3人	4人	8人	2人	8人
利用数	19人	15人	11人	19人	3人	12人

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録総数	66人	66人	62人	64人	62人	62人	62人※
新規登録数	10人	5人	3人	5人	4人	0人	58人
利用数	20人	28人	18人	14人	11人	1人	171人

※3月末登録者数

2019（令和元）年度 南区地域子育て支援拠点事業 実績報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

（１）全体振り返り

2019年度は、定着している事業を着実に実施するとともに、十分に生かし切れていない取り組みについては、さらなる工夫や思い切った見直しを加えながら進めることができた。また、利用者の力が様々な場面で発揮されることが目立つ一年だった。

「絵本サポーター」がコンスタントに活動を続け、これまでになかったアイデアで子ども図書館を彩ってくれた。「横浜国大付属横浜中学3年生との交流会」では、初めて父親のゲストスピーカーを迎えることができ、中学生にとって貴重な機会になった。その後クリスマス会の企画委員にも参加するなど活躍の場が広がった。育休をとる父親が増えてきている中で良いロールモデルだった。スタッフが日常的に声を掛けて信頼関係を築いていたことが、その土台になったのだと思う。

「わかママ会」「パパ会改め パパ向け赤ちゃんタッチケア講座」「しゃべリング アラフォーママ」は、前年度の反省に立って、プログラム内容や設定の見直しを積極的に行うことができた。

「まちのほっとスペーススタンプラリー2019」では、マタニティーポイントの導入やスタンプポイントと景品交換場所の増設を行うとともに、前年度に行った横浜総合高校のキャリア教育への協力により、高校生がデザインしたスタンプシールを採用し、新しい形での連携になった。

2月下旬からは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、居場所の利用とプログラム等の休止という前例のない事態になった。どうすべきなのかを日々悩み手探りしながら、少しでも有意義な期間に転換できるよう皆で努力した。

（２）拠点運営の概要

【実施施設】南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹

①交流スペース（弘明寺町158 カルムⅠ 2階）

「親子の居場所」「子育て相談室」「地域子育て情報コーナー」

②サポートルーム（通町4-115 アイライン弘明寺 2階）

「支援者研修室」「事務室」「横浜子育てサポートシステム南区支部」

【開館曜日】火曜～土曜（但し、月曜日が祝休日の翌日は休館）【2019年度238日開館】

* 新型コロナウイルス感染拡大防止対応により3月2日以降、交流スペースの利用中止

【開館時間】9時～17時（但し、交流スペース利用は9時30分～16時）

【スタッフ数】

常勤	5名	非常勤	16名	合計	21名
----	----	-----	-----	----	-----

【スタッフ配置】（1日の基本配置）

施設長	1名	常勤	-
居場所スタッフ	4名	うち常勤1名	「おでかけ広場」開催日は1名出張
事務スタッフ	2名	うち常勤1名	時間帯により居場所スタッフをフォロー

横浜子育てサポートシステムコーディネーター	3名	うち常勤1名	「おでかけ広場」開催日は1名出張時間帯により居場所スタッフをフォロー
横浜子育てパートナー	1名	常勤	-
合計	11名		

* 交流スペースの利用中止に伴い、3月2日以降、居場所スタッフの配置を2名に変更。

(3) 親子の居場所機能

①交流スペース利用実績

月	開館日数	乳幼児とその保護者		支援関係者他	月	開館日数	乳幼児とその保護者		支援関係者他
		利用人数	平均利用人数				利用人数	平均利用人数	
4	20	1959	98	267	10	20	2313	116	282
5	18	1837	102	198	11	20	2114	106	234
6	21	2252	107	217	12	20	1862	93	288
7	21	2300	110	256	1	19	1932	102	219
8	22	2245	102	214	2	19	1873	99	233
9	18	2167	120	210	3	0	0	0	110
					計	218	22854	105	2728

* 台風接近に伴い、10月21日臨時休館。

* 新型コロナウイルス感染拡大防止対応により、3月2日から31日まで、居場所利用中止。

②定例プログラム

プログラム名	実施回数	実績数
おもちゃ病院	35	174件の修理に対応
おたんじょう会	11	のべ623人が参加
赤ちゃんタッチケア	11	78組の親子が参加
プレママ会	12	66人
保育・教育コンシェルジュ相談	11	51組の親子に対応
地域作業所ぽれぽれ販売	10	—
地域作業所あいの木きょうしん販売	10	—

③季節行事・単発プログラム

プログラム名	実施日	参加者数
子どもの日を楽しもう！～こいのぼり・かぶと作り～	4月9日～5月11日	(期間中自由参加)
七夕	6月12日～7月6日	(期間中自由参加)
クリスマス会	12月20日	49組 109人
お正月遊びをしてみよう！	1月4日～18日	(期間中自由参加)
みんなで作ろう！ひなまつり	2月12日～3月3日	(期間中自由参加)
しゃべリング トイレトレーニング	5月23日	24組

しゃべリング 双子・三つ子育て	4月17日、7月6日 11月1日、2月1日	10組
保育・教育コンシェルジュによる幼稚園・保育園説明会	7月12日	20組
再就職応援セミナー	6月27日	13組
しゃべリング GLOBAL FRIENDSHIP	6月14日、9月6日、 11月28日、2月14日	30組
健康美人力アップ講座	11月22日	16組
しゃべリング アラフォーママ	11月29日、1月31日 午前、午後に分け各2回 開催	43組
わかママ会	6月5日、9月4日 12月4日	8組
ミニ講座&トーク「お金のやりくりと家事のヒント」	7月19日	8組
パパ向け赤ちゃんタッチケア講座	6月22日、7月20日 8月24日、12月21日 2月22日	28組

④おでかけ広場

会 場	年間回数	参加延べ人数	歯科相談	乳がん予防啓発
大岡地区センター 3階レクホール	20	1249	7月5日、12月7日	6月21日
永田地区センター 体育館	21	616	7月11日、1月24日	11月14日
中村地区センター 体育館	21	674	7月12日、1月24日	10月25日
南センター 体育館	19	832	5月15日、10月16日	7月3日
六ツ川スポーツ会館	20	404	5月22日、10月23日	9月25日

⑤はぐはぐの樹子ども図書館

取り組み名称	実施数	実績数
お父さんもいっしょのおはなし会	9回	のべ 299人が参加
みんなおいでよ おはなし会	11回	のべ 362人が参加
わらべうたで遊ぼう	11回	のべ 149人が参加
絵本相談	79日	435件に対応
絵本貸出	1933件	延べ 5889冊貸し出し
しゃべリング絵本大好き	1回	10月8日 10人が参加
こども読書週間・読書週間アンケート及び掲示	2回	「ぼくのわたしの好きな絵本」「スタッフお勧めの本」を書いてもらいコメントと共に掲示

* 子ども図書館に関する取り組み（上記以外に、蔵書管理、貸出状況把握と返却確認、購入図書を選書と発注、破損の修理、市立図書館の団体貸出手続き等）は専任の絵本アドバイザーに業務委託。

⑥ニーズ把握

- * 「利用者の声ボックス」に寄せられた意見は6件。提案・意見についてスタッフ定例会で話し合い、その結果の要点を「はぐはぐの樹だより」に掲載した。
- * 利用者アンケートを実施（11月28日～12月27日）し、交流スペース200件、おでかけ広場94件を回収。集計結果に考察を加えて報告書を作成。ホームページに掲載するとともに、事業の年間振り返りや次年度計画立案の参考とした。
- * 「はぐミーティング」を9月20日（5名参加）・2月20日（4名参加）の2回実施。出された意見を記録して情報コーナーなどに掲示し、それに対する意見収集も行った。

⑦防災・緊急対応訓練

内容	実施日	参加者数	内容	実施日	参加者数
傷病者対応	4月25日	44人	火災避難	10月29日	6人
不審者対応	5月29日	28人	地震避難	11月27日	36人
火災避難	6月28日	14人	傷病者対応	12月26日	10人
地震避難	7月25日	41人	不審者対応	1月30日	43人
傷病者対応	8月27日	34人	火災避難	2月28日	24人
不審者対応	9月26日	37人	地震避難	—	—

（4）子育て相談機能

①相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
フロア相談	285	251	266	265	246	263	
個別相談	3	4	6	5	2	3	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
フロア相談	273	239	198	291	239	0	2816件
個別相談	6	3	2	3	3	0	40件

- * 「ルームDEトーク」24回設定。のべ13人利用。（個別相談の件数を含む）

②プログラム

プログラム名	実施日	参加者数	講師
おしゃべりサロン 8か月から1歳6か月の育ち	5月31日、9月18日 12月18日、2月29日	19組	助産師 渡邊ケイ子さん
おしゃべりサロン7か月までの育ち	4月5日、6月7日 8月6日、11月2日 1月24日	42組	
おしゃべりサロン きょうだい児育て	10月1日、2月1日	14組	
おしゃべりサロン 発達・療育	4月19日、6月15日 7月17日、8月30日 10月19日、12月6日 1月29日、3月13日	29組	障がい児・者の 将来を考える会 泉の会の みなさん
おしゃべりサロン ダウン症児育て	5月18日、9月21日 11月18日、2月15日	6組	

こどものごはん	5月28日、10月30日	70組	南区健康づくり 係栄養士
---------	--------------	-----	-----------------

(5) 子育て情報収集・提供機能

①情報コーナー

- * 区内から送られてきた情報を5つのカテゴリー（あそぶ、仕事・講座、預ける、相談、その他）に分けて配架した。
- * 南区こども家庭支援課関連事業のチラシはまとめて別の壁掛けのファイルに配架した。
- * 南区と近隣区の保育所情報をファイルにまとめて配架した。
- * 区よりほぼすべての子育てサロンのチラシを提供してもらい、壁掛けのファイルにまとめた。

②ホームページ

- * 「はぐはぐの樹カレンダー」は、毎月20日頃に翌月分のプログラムを更新した。
- * ホームページ内の「南区子育てカレンダー」は、南区子育てもっとネット参加団体に入力や更新を依頼した。申し出に応じて入力の代行や問い合わせに対応した。
- * 「はぐはぐの樹のできごと」に日々の居場所の様子や定例プログラムの報告をアップした。
- * 新たに「プログラムなどのチラシ」のページを作成し、各プログラムのチラシをホームページで見られるようにした。

③はぐはぐの樹だより

- * 毎月約2800部を発行。区内の公共施設・駅・地域の子育てサロン・おでかけ広場他、市内の子育て支援関連施設に配布した。
- * 居場所事業を中心に、ネットワークや横浜子育てサポートシステムの記事、絵本サポーター募集記事などを掲載した。

④情報発信掲示板

- * より活発な情報交換が行えるよう、幼稚園と保育園の情報掲示板を分けた。

(6) 子育て支援ネットワーク機能

①南区子育てもっとネット

取り組み名称	実施日	参加数等
南区子育てもっとネット会議	第1回 7月26日 第2回 2月26日（中止）	第1回 43名
堀ノ内・睦・蒔田地区すくすく子育てネットワーク	9月6日	18名
南区子育てカレンダー運用	通年	入力マニュアルと代行入力依頼書様式を66施設・団体に送付。

まちなほっとスペース スタンプラリー2019	9月1日～10月31日 (景品交換11月15日まで)	マタニティボーナスポイントを導入。スタンプポイント・景品交換場所を増設。 乳幼児と養育者1949組 景品交換数269個
第3期南区地域福祉保健計画 取組状況まとめ	10月10日報告依頼文送付	もっとネット参加の66施設・団体の取組状況をまとめた。

②地域行事

行事名称	日時・内容等
永田支えあい祭り	4月13日 簡単工作コーナー 子育て情報提供
南太田ホームまつり	8月4日 簡単工作コーナー
第12回 レインボーフェスタ★みなみ	9月21日簡単工作と拠点事業PRで出展参加。 工作参加者約65名。(事前事後の実行委員会に5回出席)
おみせサンタ	12月6・7日、クイズポイントとして参加の他、はぐはぐの樹だよりやホームページ・ポスター掲示などによる広報協力、イベント中のトイレ利用の受け入れ。
訪問サンタ	12月10日、地域作業所「ラフォーレさくら」の利用者5名が訪問サンタとして来所。プレゼントの配布とはぐはぐの樹利用者親子との交流。
まちゼミ	2月14日「子育て応援入門講座」を企画。参加者無し。
永田地区センター祭	11月24日「クリスマスリース」「ぱっちゃんカエル」の簡単工作と、はぐはぐの樹PRで出展参加。参加者81名

③他施設・団体との連携・協力

連携・協力先	内容
ひとり親サポートよこはま 「ひとり親サロン」	8月29日、ひとり親の母対象に「リンパの流れを整える リフレッシュヨガ&交流タイム」。保育が付くように働きかけて開催。
ママズカフェ 「ママズカフェマーケット」	11月9日、物々交換会と手芸ワークショップのイベント。会場確保、広報周知、物品貸し出しなどの協力。はぐはぐの樹紹介コーナーで出展参加。
睦地域ケアプラザ 「電車を走らせよう」	11月23・24日、乳幼児～小学生親子（主に父親）を対象としたイベントの共催。広報及びプラレールの修理取次等で協力。

④その他

会議等名称	出席回数
横浜市要保護児童対策地域協議会南区実務者会議全体会	1回
南区子どもの居場所づくりネットワーク	10回
南区子どもの居場所活動団体交流会	2回
南区地福連携会議（みなっち茶屋）	1回
みなみの福祉保健 懇談会	1回

南区まるごとみなみ施設交流会全体会	1回
まるごとみなみ施設交流会	1回
南区サンプラザプロジェクト実行委員会	3回
南図書館を囲む会	1回

(7) 子育て支援人材育成機能

① 子育て支援関連講座

講座名	実施日	実績数等
「対人援助の基本とメンタルヘルスについて」	8月28日	支援関係者 44名
ボランティア・カレッジ「子どもの見守り・関わりを学ぶ」(大岡地域ケアプラザと共催)	11月5日・12日	申込み少数のため中止
永田 DE はぐくむわくわく教室 +同窓会 (永田地域ケアプラザと共催)	11月8日・15日・22日・29日、12月13日・20日、1月17日、2月21日	永田エリアの乳幼児親子 12組
多文化子育て講演会 「ちがいを超えてともに生きる」	2月1日	地域関係者、支援関係者、50名

② 学生等受け入れ

取り組み名称	実施日・実績数
国大付属中学校 3年生交流会	9月6日、20日、10月18日大岡おでかけ広場で交流会(3クラス合計138名)を実施。
中学校職業体験等受け入れ	区内の中学高校16校に案内文送付。 国大付属中学校4名、六ツ川中学校4名、共進中学校2名 平楽中学校4名、永田中学校3名、南が丘中学校4名
実習生・ボランティア等受け入れ	横浜国立大学教育学部附属特別支援学校高等部3年1名(10日間) 関東学院大学教育学部学生見学4名 学生インターン受け入れプログラム1名(4日間) 関東学院大学看護学部実習生 延べ22名(10日間) 関東学院大学看護学部4年生統合実習2名(各3日間) 関東学院附属中学高校インターアクト部 延べ9名(1日間) 南区役所助産師・看護師実習生各2名 横浜総合高校ボランティア部2名(2回程度) 横浜清陵高校1名(1回) 横浜清風高等学校1名(2回) 洗足学園中等部1名(1回)
横浜総合高校とのコラボレーション	高校のキャリア教育に協力して、まちのほっとスペーススタンプラリーのスタンプのデザインを高校生が提案するための取材・調査に対応。 プレゼンテーションとなるポスターセッションに参加。 選抜したスタンプデザインのデータを受理した。
その他	大岡小学校総合学習 手作りクレヨンお試し受け入れ 30名

③子育てサークル支援

取り組み名称	実施日・実績数
「南区子育てサークル名簿」作成・配付	7月20日、87冊発行 親と子のつどいの広場、ママと子のホットタイム会場、地域ケアプラザ、地域子育てサロン等に配付した。
サークルリーフレット配付	「南区子育てサークル名簿」に同封して配付
大型おもちゃ・シアター類の貸出し	9件、12点
新規メンバー募集支援	情報コーナーへの掲示 おでかけ広場でのチラシ配布
サークル支援	サークルの運営に関する相談 2件

④その他

取り組み名称	実施日・実績数等
支援者向けの情報誌「にこで」発行	6月・9月・12月の3回、各約800部を発行。(3月発行は配布先が休止になったため見合わせ)もっとネット参加施設・団体のスタッフ、子育てサポートシステム提供・両方会員などに配付。
おでかけ広場ボランティア	おでかけ広場5会場の開催をサポートしてもらったボランティアに9名登録。スタッフと共に、会場の設営、利用者親子の見守り、片づけ、清掃を行った。
作り物サポーター	拠点事業で必要な物を手作りする活動を毎月第1木曜日(5月、8月、1月は休み)に行い、8回でのべ14名が参加。
感謝のメッセージ	3月、感謝状と利用者から集めた感謝のメッセージカードを、おでかけ広場ボランティアと作り物サポーターに郵送した。
絵本サポーター	居場所内でおすすめ絵本コーナーのメンテナンスや、ランチ前の絵本読み聞かせ等を行う活動で、ミーティングを10回開催し、のべ45名が参加。「しゃべり絵本大好き」(10月)の企画・実施も担当した。

(8) 横浜子育てサポートシステム南区支部事務局

①入会説明

	実施回数	利用会員	提供会員	両方会員	実施場所
入会説明会	10	57	0	1	第2土/交流スペース
個別説明	57	49	7	1	主に交流スペース、サポートルーム、利用会員希望宅
出張説明	33	51	1	2	第2土/交流スペース、第3火/さくらザウルス蒔田ひろば、第4木/さくらザウルス六ツ川ひろば、他

②コーディネート

【依頼件数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
依頼件数	10	15	12	11	8	7	12	16	7	13	14	4	129

【事前打合せ同席数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
同席数	14	11	8	15	2	4	10	8	11	6	8	4	101

③会員交流会

- * 12月9日「みんなで作ろう手作りバルーン」バルーンアートの製作と軽食を摂りながら歓談。会員13名（提供会員6名、両方会員2名、利用会員5名）子ども7名参加。
- * 通年で「初めての子サポ体験」を10組実施。提供会員7名、両方会員3名が援助活動を行った。

④提供・両方会員研修会

- * 7月8日「こころを聴こう 傾聴講座」を大岡地区センターで開催。講師はNPO法人アーモンドコミュニティネットワーク理事長 水谷裕子さん。提供会員10名、両方会員3名が参加。

⑤提供会員予定者研修会

- * 「提供会員予定者研修会」を11月13日、14日、15日に大岡地区センターにて実施。延べ45名参加。保育協力者延べ13名（託児のべ10名）

⑥広報

- * 「子育てサポートニュース」を、5月・10月・2月の3回、各500部発行。全会員・各支部に配付。
- * 会員募集チラシを作成し、子ども家庭支援課を通じて約2,400枚を配布。
- * 「はぐはぐの樹だより」にサポートシステム関連記事を毎月掲載。
- * 幼稚園保護者に向けて会員募集チラシを2500部作成。5月にパートナーチラシとともに園に持参してもらい、全家庭に配付。
- * 新一年生保護者に向けて会員募集チラシを1,600部作成。1～2月の入学説明会で全家庭配布してもらうよう小学校に送付。
- * 広報よこはま南区版9月号にシステムの周知とともに、提供会員募集の掲載（92,700部）。
- * 区内の親と子のつどいの広場等へのリーフレット配架1000枚。
- * 保育園保護者に向けて会員募集チラシを3,900部作成。2月に全家庭配付してもらうよう保育園に送付。

⑦一時保育ボランティアグループ「ぐるんぱ」

- * 登録会員21名。定例会（約月に一回）で、運営規約の見直し、保育割り振り・注意事項・振り返り・情報、意見交換、ヒヤリハットの共有を行った。
- * 年間活動回数（保育依頼件数）37件。活動者数116人。
- * 乳幼児健診の見守り保育、年間68回、延べ136人が活動。（3月1日～26日乳健中止）

（9）利用者支援事業 子育てパートナー

①相談件数

	新規相談 件数	継続相談 件数	相談方法		
			面接	電話	出張
4月	9	10	14	5	0
5月	8	12	17	3	0
6月	15	14	17	3	9

7月	13	12	16	4	5
8月	16	16	22	6	4
9月	15	20	25	6	4
10月	16	16	22	5	5
11月	22	14	25	6	5
12月	9	19	15	7	6
1月	16	13	21	1	7
2月	8	20	18	4	6
3月	6	7	5	8	0
合計	153	173	217	58	51
	326		326		

②出張相談

	実施会場	実施日
親と子の つどいの広場	さくらザウルス蒔田ひろば	6月11日、10月16日、2月21日
	さくらザウルス六ツ川ひろば	7月9日、11月22日
	つどいの広場えの木	9月13日、12月10日
	つどいの広場 M-HOUSE 三春台	8月23日、1月30日
はぐはぐの樹 おでかけ広場	永田地区センター	7月25日、1月23日
	南センター	9月18日、2月19日
	六ツ川スポーツ会館	9月12日、11月14日
	大岡地区センター	8月2日、11月15日
	中村地区センター	10月11日

③広報活動及び地域連携

- * 認可保育園、認可外保育園、幼稚園へチラシを訪問し配付（62施設 5085部）
- * 両親学級・土曜両親学級 拠点 PR
- * 7月23日、南区ちびっこ幼稚園大会 見学
- * 8月29日、ひとり親サポートよこはまとの共催事業で「ひとり親サロン」を実施
- * 9月25日、れんげ幼稚園 見学
- * 10月6日、南区福祉まつり いきいきふれあい南なんデー 参加
- * 10月24日、南聖心幼稚園未就園児クラス 訪問及び情報提供
- * 11月9日、ママズカフェイベント共催事業支援

【地域子育てサロン訪問】

地域子育てサロン会場	訪問日
豆の木	4月3日
のびのび	6月7日
つくしんぼ	7月11日

ちびっこルームかのえ	8月7日
ぽてと（上第6）	9月27日
ぬくもり（別所コミハ）	11月2日
もりのなかまたち	11月18日
へいらくひよこクラブ	1月9日
あかいくつ	2月4日

④会議出席及び関係機関との連携

活動内容	実施日
子育てパートナー定例会議	毎月第4火曜日（7回開催6回出席）
子育てパートナー研修	10月3日、1月28日
こんにちは赤ちゃん訪問員・主任児童委員定例会	5月16日
移動情報センター推進会議	4月18日、7月26日、10月17日
まるごとみなみ施設交流会（全体会）	5月21日
子育て支援者定例会	6月7日
横浜市要保護児童対策地域連絡会南区実務者会議	6月19日
横浜市子育て世代包括支援センター 区との振り返り	12月18日
「わかママ会」三者打合せ	12月23日
南区子育てもっとネット会議	7月26日

（10）拠点関連事業

①南まつり

- * 7月28日、蒔田公園にて。フリーマーケットとゲームコーナーで出展。1日目27日は悪天候により中止された。

②南区子育て応援マップ「おひさまだいすき」改訂

- * 情報掲載している施設・関連機関等に129件の照会をしデータを修正。表紙もリニューアルした。
- * 7月31日データ納品。8月末に現物を受け取り、スタンプラリー用品一式と共に関係機関に送付。照会のみのところにも見本として各1冊送付。

（11）会議およびスタッフ研修体制

①定例会議・ミーティング

会議名	基本開催日時	内容
拠点スタッフ全体会議	第4月曜日 9:00～15:00	拠点スタッフ全員で事業内容検討・実施打合せ・振り返りや情報共有、研修等。
担当別会議	第4月曜日 15:00～17:00	事務・居場所・子育てサポートシステムの担当ごとに、詳細な事業内容検討・実施打合せ・振り返り等。

区・拠点定例会議	第2木曜日 13:30～16:00	こども家庭支援課と常勤スタッフで事業報告と内容検討、情報交換、「相談」「利用者支援」ケース検討等。
常勤スタッフ会議	第1金曜日 13:30～16:00	常勤スタッフで実務詳細の摺り合わせやスタッフマネジメントについての打合せ等。
朝ミーティング	毎日 9:20～9:30	安全チェックリスト確認、当日のスケジュール確認、前日からの引き継ぎ事項、急ぎの情報共有等
振り返りミーティング	毎日 16:30～17:00	当日の振り返り、ヒヤリハットの共有、翌日への引き継ぎ事項、連絡事項等

②スタッフ研修

【内部研修】

研修名	実施日
個人情報取り扱い従事者研修	4月22日
幼児救急法	8月26日
感染症対策実習「ノロウイルスおう吐物処理について」	9月24日
「親子の居場所で虐待を見聞きした時のスタッフの対応について」	9月24日
女性のからだの変化 ～思春期から更年期～	11月24日

【外部参加】

* 参加したスタッフは報告書を作成し、スタッフ会議において全体で共有した。

講演・講座・研修名称（主催者）	受講日	参加数
横浜市地域子育て支援実践者研修（基礎編）（こども青少年局子育て支援課）	6月7日	1名
こんにちは赤ちゃん訪問員・主任児童委員合同研修（南区こども家庭支援課）	6月14日	3名
よこはま自殺対策基礎研修（健康福祉局こころの健康相談センター）	6月28日	2名
地域のネットワークで子どもの成長を支える （公益財団法人横浜市国際交流協会）	7月3日	1名
横浜市地域子育て支援実践者研修（基礎編）（こども青少年局子育て支援課）	7月6日	1名
依存症対応研修【基礎編】（健康福祉局こころの健康相談センター）	8月28日	1名
赤十字幼児安全法短期講習（こども青少年局子育て支援課）	9月26日	1名
全国子育てひろば実践交流セミナーin千葉 （NPO法人子育てひろば全国連絡協議会）	11月2日	1名
つながるヨコハマ～これからの親子の居場所について考える～ （こども青少年局）	11月18日	3名
横浜子育てサポートシステムコーディネーター研修 （横浜子育てサポートシステム本部事務局）	12月11日 ・26日	4名
悩んでいそうな人への対応講座～傾聴・声かけの大切さ、自殺予防は「思いやり！」～（南区自殺対策事業事務局）	12月13日	1名
第4回 子ども・若者の居場所づくりフォーラム（神奈川県福祉協議会）	1月29日	1名